【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成18年9月21日(2006.9.21)

【公開番号】特開2004-135295(P2004-135295A)
【公開日】平成16年4月30日(2004.4.30)
【年通号数】公開・登録公報2004-017
【出願番号】特願2003-293859(P2003-293859)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｒ　1/26　(2006.01)
Ｈ０４Ｓ　5/02　(2006.01)
Ｈ０４Ｓ　7/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｒ　1/26
Ｈ０４Ｓ　5/02　Ｐ
Ｈ０４Ｓ　5/02　Ｙ
Ｈ０４Ｓ　7/00　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成18年8月3日(2006.8.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ピストン式スピーカーと共鳴パネルスピーカーとの組合せを含むスピーカーユニットであって、前記ピストン式スピーカーと前記共鳴パネルスピーカーとは、前記共鳴パネルが少なくとも部分的に前記ピストン式スピーカーを覆う第１の位置と、前記ピストン式スピーカーが前記共鳴パネルに実質的に覆われない第２の位置との間で、前記共鳴パネルが前記ピストン式スピーカーに対して可動であるように配置される、スピーカーユニット。
【請求項２】
前記共鳴パネルは、前記ピストン式スピーカーに対して回転可能である、請求項１に記載のスピーカーユニット。
【請求項３】
前記第１の位置で、前記共鳴パネルは、前記ピストン式スピーカーの実質的に全体を覆う、請求項１または２に記載のスピーカーユニット。
【請求項４】
前記共鳴パネルがその第２の位置にある場合、前記ピストン式スピーカーは、前記共鳴パネルに実質的に全く覆われない、請求項１から３のいずれかに記載のスピーカーユニット。
【請求項５】
前記ピストン式スピーカーを覆うことまたは覆わないことは、ピストン式に駆動されるその振動板を覆うことまたは覆わないことを含む、請求項１から４のいずれかに記載のスピーカーユニット。
【請求項６】
前記共鳴パネルがその第２の位置にある場合、前記パネルは、前記ピストン式スピーカーの前記振動板がそれに沿ってピストン式に駆動される軸に対して実質的に平行に配向される、請求項５に記載のスピーカーユニット。

【請求項７】
前記共鳴パネルスピーカーの前記第１の位置は非作動位置であり、前記共鳴パネルスピーカーの前記第２の位置は、前記共鳴パネルスピーカーが音響放射を発することのできる作動位置である、請求項１から６のいずれかに記載のスピーカーユニット。
【請求項８】
前記ピストン式スピーカーは、低周波数スピーカーである、請求項１から７のいずれかに記載のスピーカーユニット。
【請求項９】
前記共鳴パネルが可動に装着される支持体をさらに含む、請求項１から８のいずれかに記載のスピーカーユニット。
【請求項１０】
それによって前記共鳴パネルが前記ピストン式スピーカーに対して可動であるモータをさらに含む、請求項項１から９のいずれかに記載のスピーカーユニット。
【請求項１１】
前記モータは、電気モータである、請求項１０に記載のスピーカーユニット。
【請求項１２】
前記共鳴パネルの動きを制御するように配置された遠隔制御システムをさらに含む、請求項１０または１１に記載のスピーカーユニット。
【請求項１３】
前記共鳴パネルは、前記支持体に対して回転可能である、請求項９またはそれに従属する請求項のいずれかに記載のスピーカーユニット。
【請求項１４】
前記共鳴パネルスピーカーは、共鳴パネル、および前記パネルを励起するように配置された１つまたは複数のエクサイタを含む、請求項１から１３のいずれかに記載のスピーカーユニット。
【請求項１５】
前記共鳴パネルは、２つの対向する主表面を含み、前記共鳴パネルスピーカーは、前記パネルの対向する主表面の両方から同時に音響放射を発するように配置される、請求項１から１４のいずれかに記載のスピーカーユニット。
【請求項１６】
前記共鳴パネルは実質的に平坦である、請求項項１から１５のいずれかに記載のスピーカーユニット。
【請求項１７】
前記共鳴パネルスピーカーを、第１の非作動位置と、前記共鳴パネルスピーカーが音響放射を発することのできる第２の作動位置との間で動かすステップを含む、請求項１から１６のいずれかに記載のスピーカーユニットを作動させる方法。